

可視化ソフト「Visible2d」の使い方

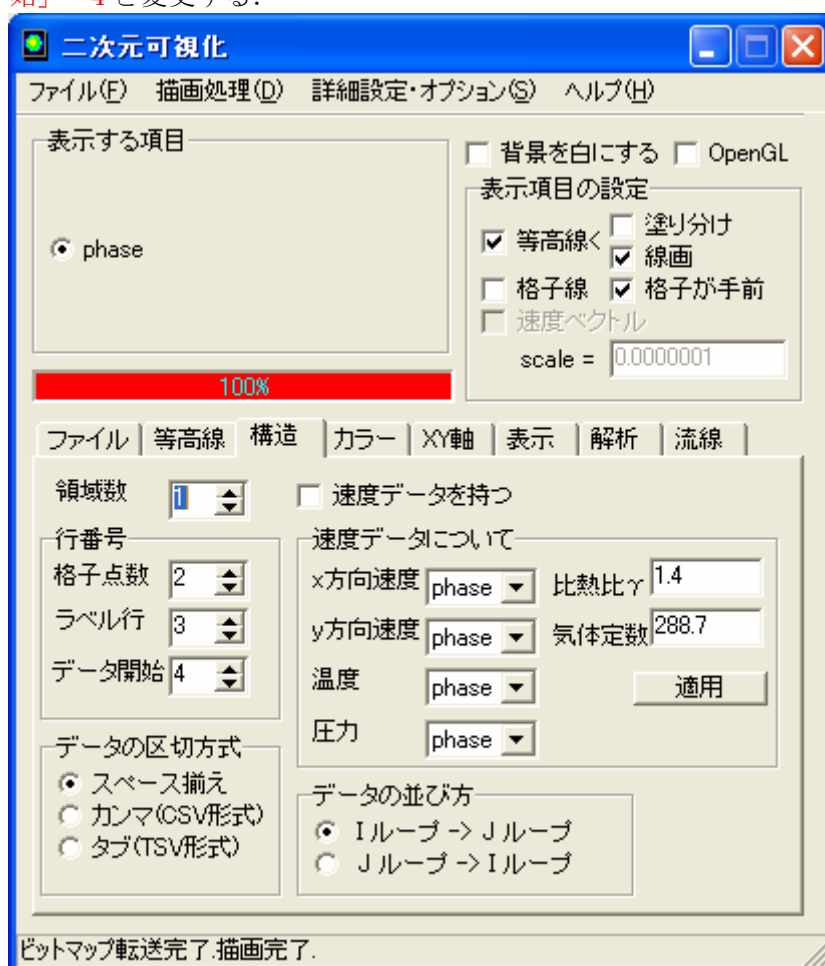
1. Visible2d を起動.



をダブルクリック.

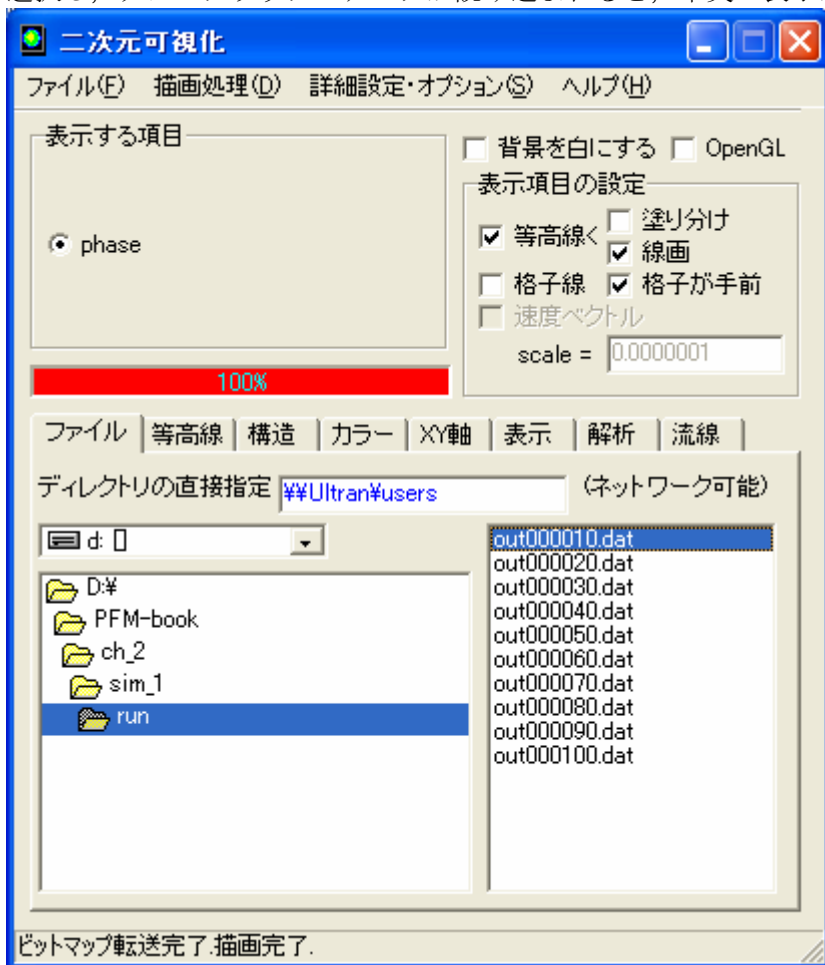
2. 「構造」を設定.

下図のように「構造」という window に行き, [領域数] = 1, [ラベル行] = 3, [データ開始] = 4 と変更する.



3. データを読み込む。

下図のように「ファイル」という window に行き、開きたいファイルを右側の window で選択し、ダブルクリック。データが読み込まれると、中央の表示が 0%→100%となる。



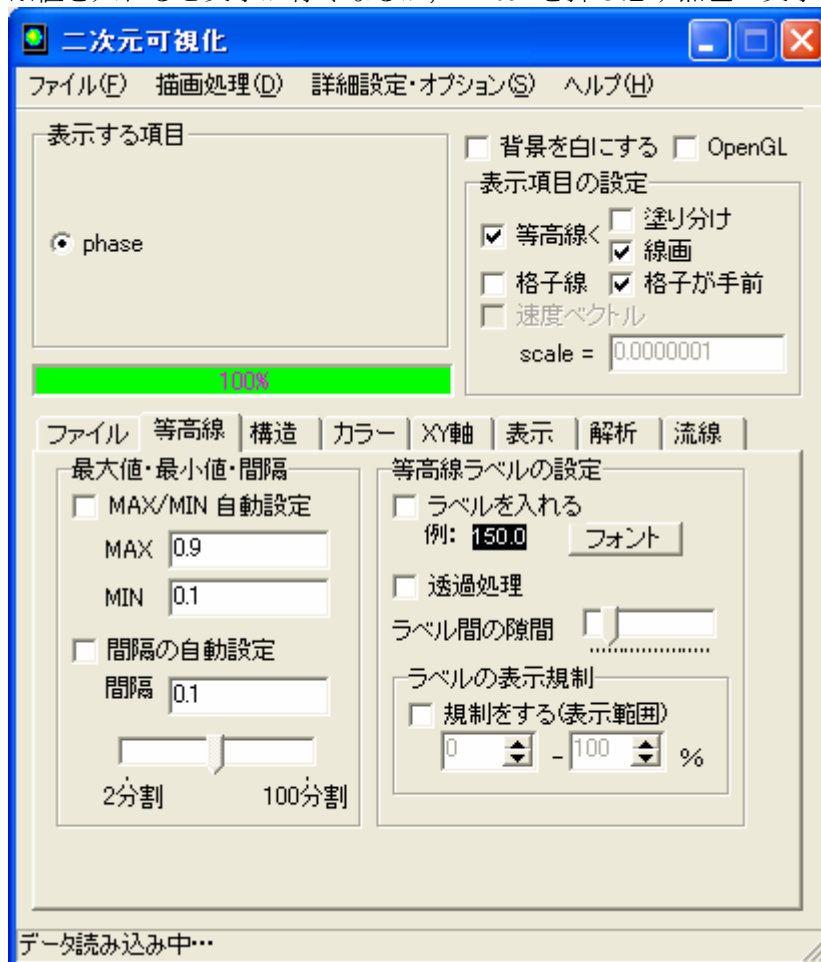
4. 等高線の設定

「等高線」 window に行き, [MAX/MIN 自動設定] [間隔の自動設定] [ラベルを入れる] のチェックを外す. →.

[MAX] に 0.9, [MIN] に 0.1, [間隔] に 0.1 を入力.

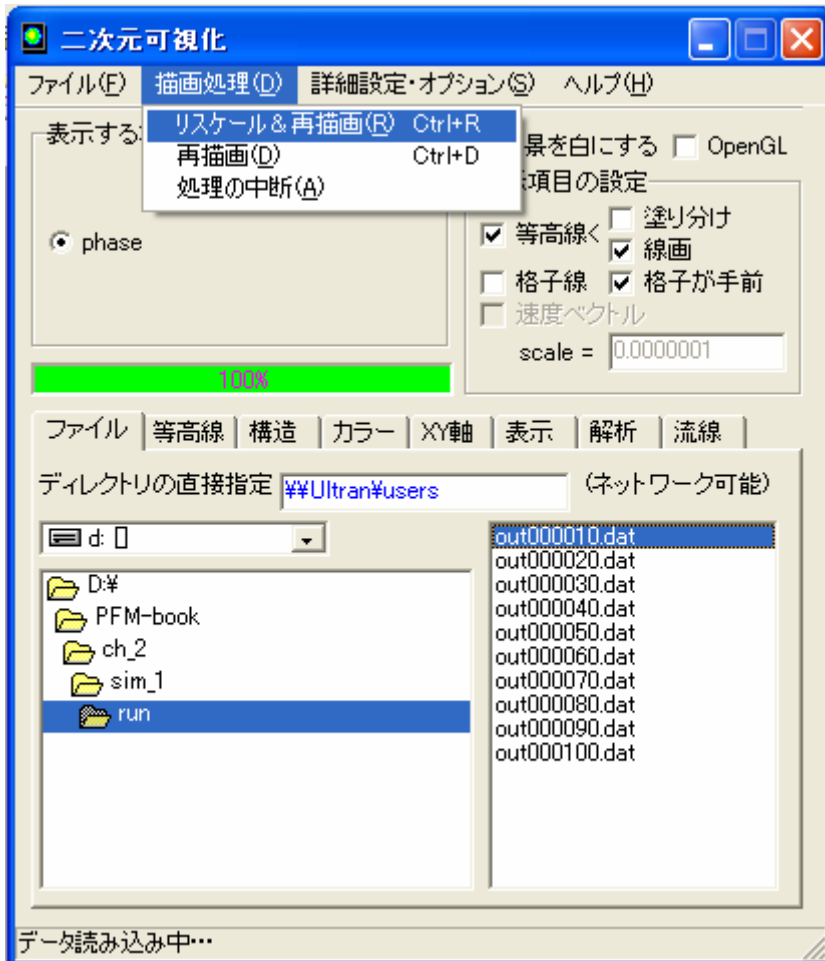
※フェーズフィールドが 0~1 の値を持つので, 0.1~0.9 までを界面とし, その間を 0.1 刻みで色分けする.

※値を入れると文字が青くなるが, Enter を押し必ず黒色の文字にすること.

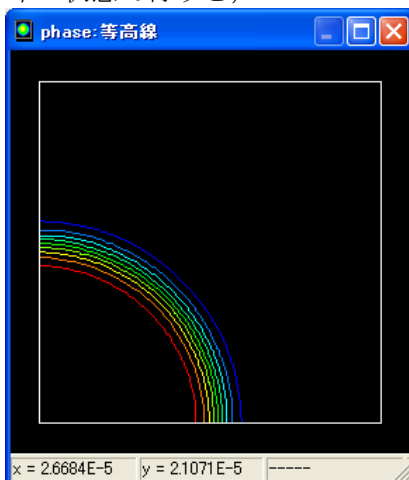


5. 描画

「描画処理」から「リスケール&再描画」を選択。
フェーズフィールドの等高線が描画される。

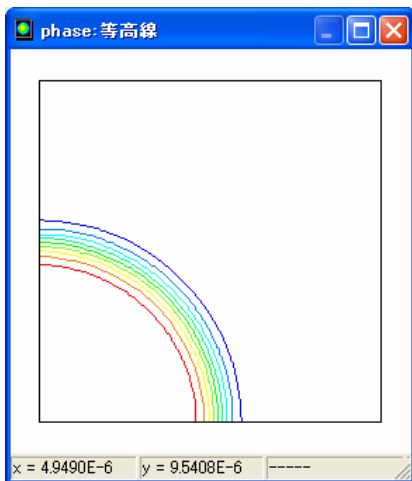


今の状態で行うと、



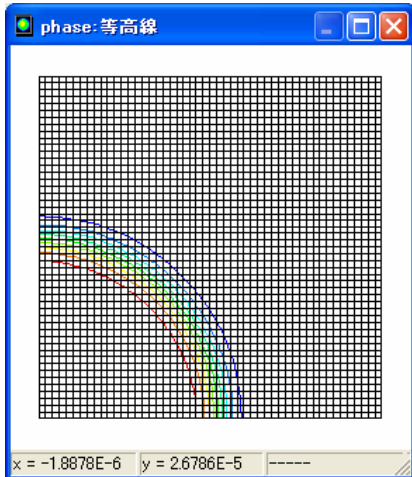
のような背景の黒い等高線が表示される。

「背景を白にする」にチェックを入れ、「描画処理」から「再描画」を選択すると、



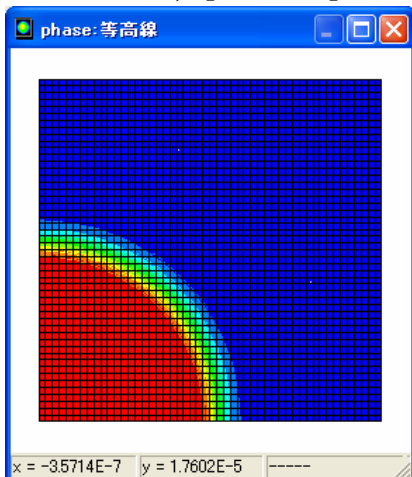
のように背景が白くなる。

さらに、[格子線]にチェックを入れ、「描画処理」から「再描画」を選択すると、



のように格子も同時に描かれる。

さらにさらに、[塗りわけ]をチェックし、「描画処理」から「再描画」を選択すると、

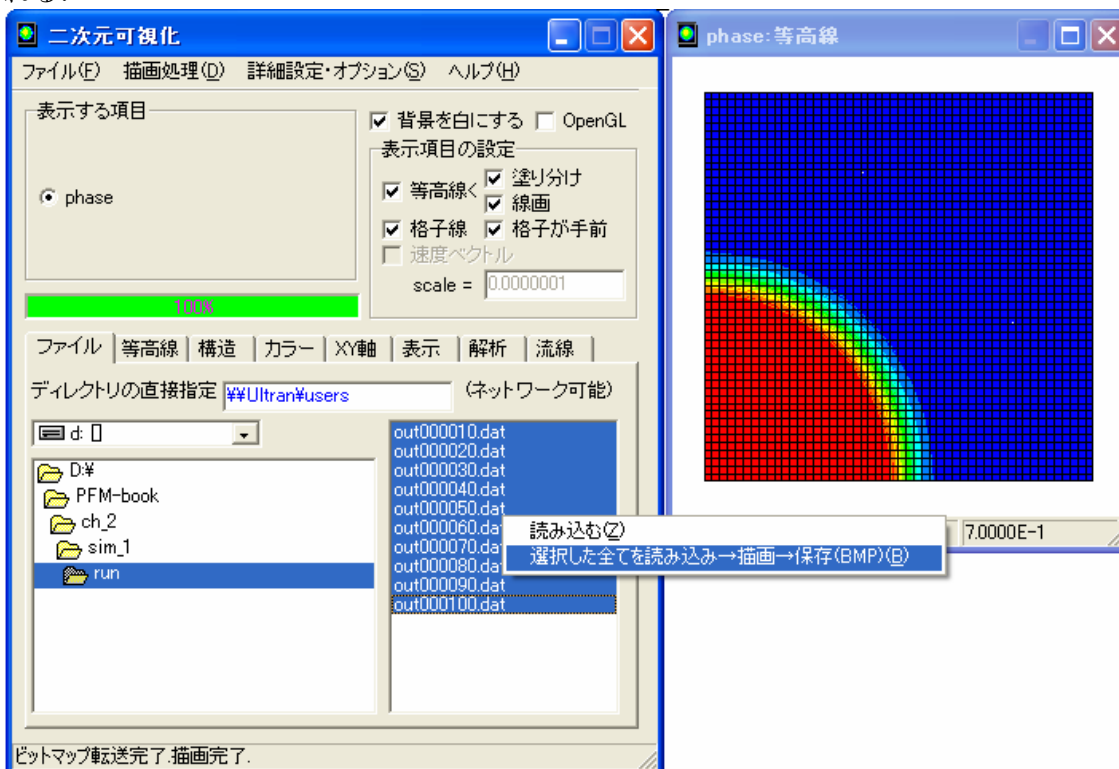


のように色が塗られる。

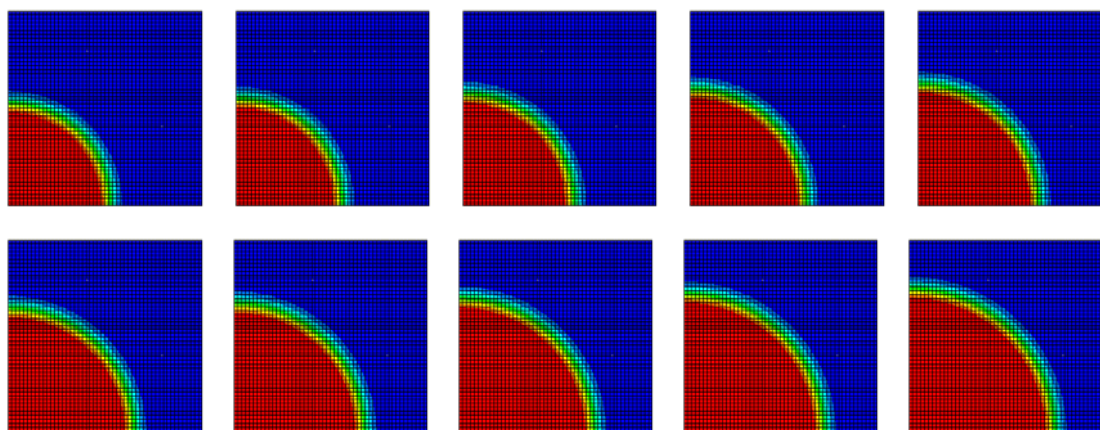
※描画 window はマウスで拡大縮小できる。画像は、マウス左ボタンのクリックで拡大、右クリックで縮小。キーボードの←→で移動。

6. 一括して時系列データを画像にする。

「ファイル」windowに行き、右のwindowにおいて画像を取得したいデータ全てを選択する。その上で、マウスの右ボタンを1回クリックし、「選択した全てを読み込み→描画→保存」を選択すると、解析結果のデータがあるフォルダ内にビットマップファイルが生成される。



結果は次のような感じ。



アニメーション作成ソフトを使えば、動画ファイルを作成することが可能。

※※※その他、詳細はマニュアルを見てください。